

あいしょうジュニア魅力探検隊 活動発表会がありました!

重点戦略3 未来を先取る活力ある「まちづくり」プロジェクト 1,131,782千円

まちの人口規模の維持および人口構造の確保に向けては、若者や高齢者を含めた各年代の人口構成が適切に維持され、多様な人々の活動が活発に行われるとともに、地域交通や道路などの社会基盤の整備が重要になることから、将来を見据えた持続可能な「まちづくり」を進めます。



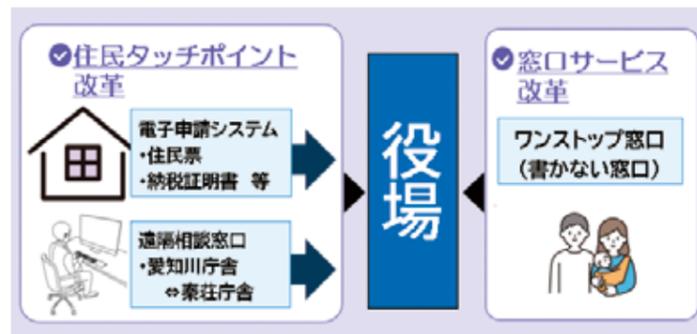
とりわけ令和5年度は、「2025国スポ・障スポ」開催に向けた機運の醸成に加え、まちの認知度・魅力度を高め、新たな人の流れを創出します。さらに、公共施設の最適化をはじめ、デジタル実装による行政サービスを推進し、住民の利便性向上に努めます。

【主な取組】

- 移住・交流事業 **拡充** 54,767千円 [みらい創生課]
- 国スポ・障スポ開催準備事業 **拡充** 14,125千円 [生涯学習課]
- 地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト (愛荘町ゆかりの資源を活かした戦略的広報事業)
 - 新規** 6,513千円 [みらい創生課、商工観光課]
 - 継続** 171,984千円 [建設・下水道課]
 - 拡充** 3,038千円 [みらい創生課]
 - 拡充** 880千円 [くらし安全環境課]
- 町道愛知川栗田線道路改良事業 **新規** 845,860千円 [経営戦略課]
- 地域公共交通活性化事業 **新規** 34,615千円 [経営戦略課]
- 防犯事業
- 庁舎等リニューアル事業
- デジタル化推進事業



アーチェリー大会の様子



デジタル化の概要



3月11日、中山道愛知川宿街道交流館であいしょうジュニア魅力探検隊の発表会が行われました。

「あいしょうジュニア魅力探検隊」は、子どもたちが地域資源の魅力を学び、子どもならではの視点で町の魅力を発信することを目的に昨年7月から活動しています。

今回は1年間の活動を通じて学んだことの集大成として、愛荘町の魅力を発表しました。あいしょうジュニア魅力探検隊の5名は、金剛輪寺の見所やおすすめの写真スポットなどを、自作のパネルを用いて、丁寧に説明していました。

また、発表会の後は、愛荘町観光ボランティアガイド協会の方と中山道をまち歩きし、改めて町の歴史を振り返りました。



▲1年間の成果を発表するあいしょうジュニア魅力探検隊



▲愛荘観光ボランティアガイド協会の方から町の歴史を教わるあいしょうジュニア魅力探検隊

このように、あいしょうジュニア魅力探検隊は、1年間の町内での様々な活動を通じて、愛荘町の魅力を学びました。今後も、愛荘町の素敵なところを見つけて、多くの方に伝えていってほしいと思います。

あいしょうジュニア魅力探検隊 1年間の活動内容



7月
ゆめまちテラスで、国の伝統的工芸品に指定されている近江上布について学び、機織り体験をしました。



8月
取材の仕方を中日新聞渡邊記者に教えていただき、その後、愛荘町観光協会の方に、愛荘町の魅力について取材をしました。



9月
金剛輪寺の魅力について住職へ取材をしたり、本堂で特別に座禅体験をしました。



10月
歴史文化博物館で展示物の解説を聞いたり、依智泰氏の里古墳公園の古墳に入ったり、火起こし体験をしました。



11月
湖東三山館あいしょうで、町の観光について取材をしたり、かまど炊き体験をしました。



12月
愛知川びんてまりの館の「びん手まり展」に行き、館長へ滋賀県の伝統的工芸品に指定されている「愛知川びん細工手まり」について取材をしました。



12月～2月
3月の活動発表会のため、金剛輪寺をテーマとしたパネルの製作や発表の練習を行いました。